

經濟論叢

第157卷 第3号

哀 辞

故 島恭彦名誉教授遺影および略歴

金融的ヒエラルキーと過剰金融……………本 山 美 彦 1

寡占市場における組合化の効果：

産業別 vs 企業別組合……………石 黒 真 吾 20

中小企業の存立・成長と研究開発……………蘇 顯 揚 33

芸術支援政策の財政問題(1)……………金 武 創 51

追 憶 文

島恭彦先生の業績を偲ぶ……………宮 本 憲 一 67

弔辞……………廣 田 司 朗 71

島ゼミナールの思い出……………横 田 茂 73

平成8年3月

京 都 大 学 經 濟 學 會



故島 恭彦名誉教授遺影

故鳥 恭彦先生 御略歴

- 1910(明治43)年6月 福井県敦賀市に生まれる
- 1931(昭和9)年3月 京都帝国大学経済学部卒業
- 1934(昭和9)年4月 京都帝国大学大学院(経済学部)入学
- 1934(昭和9)年5月 京都帝国大学経済学部副手
- 1936(昭和11)年3月 京都帝国大学経済学部講師
- 1940(昭和15)年4月 和歌山高等商業学校教授
- 1944(昭和19)年5月 京都帝国大学人文科学研究所助教授
- 1946(昭和21)年7月 京都帝国大学経済学部助教授
- 1948(昭和23)年1月 第一期日本学術会議会員(1950年, 1953年, 1962年)
- 1949(昭和24)年2月 京都大学経済学部教授 財政学講座担当
- 1951(昭和26)年12月 経済学博士
- 1957(昭和32)年12月 京都府土地収用委員会委員(～1960年, 1964年～1973年)
- 1961(昭和36)年1月 京都大学経済学部長
- 1970(昭和45)年1月 京都大学評議員
- 1974(昭和49)年3月 京都大学定年退官, 京都大学名誉教授
- 1974(昭和49)年4月 専修大学教授
- 1981(昭和56)年3月 専修大学退職
- 1995(平成7)年9月 肺炎のため御逝去